



ほのか診察室

シリーズ
第145話

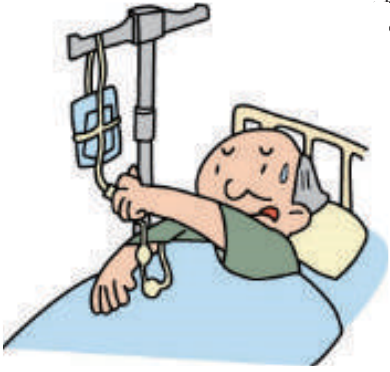
せん妄とは？

市民病院
精神科部長医師
浅尾 拓郎 監修
(3階病棟 作成)

▽市民病院(代表) TEL 22・2171

ご家族で高齢の方が入院・手術後に、認知症のような症状になったことや普段と異なり攻撃的になったことはありませんか。これは認知症ではなく、「せん妄」という一種の意識精神障害です。

せん妄とは、病気により、からだの調子が悪くなることで脳も一時的に調子が悪くなり、数時間から数週間、意識が混乱する状態を示します。また、入院している高齢者の25〜40%に合併するといわれ、特に認知症の方は、認知症でない方と比べると発症リスクが約5倍といわれています。



【症状や変化】

- ・ 今日が、何月何日なのか分からなくなる
- ・ 病院と自宅を間違える
- ・ 見えないものを見えるという(「部屋の中に虫がいる」など)
- ・ 何度もベッドから起き上がる
- ・ 転んでしまう
- ・ 繰り返してどこかへ行こうとする
- ・ 昔のことを今のことのように話す
- ・ 現実とは違うことを話す
- ・ 昼間眠ってしまい夜眠れない
- ・ 昼と夜の区別や、時間が分からない
- ・ 治療のために必要な点滴やチューブを知らないうちに抜いてしまう
- ・ 急に大声を出す
- ・ 周囲に対して攻撃的になる



【原因】

- ・ 全身状態が悪い
- ・ 手術後の環境変化
- ・ 脳の疾患や脳の脆弱性(認知症も含む)
- ・ 点滴や安静
- ・ 絶食、疼痛、薬剤

せん妄は、もともとの病気と密接に関連しています。認知症と誤解されやすい症状が現れますが、全く別のもので、病気に對して適切な治療を行えば、せん妄症状は改善するといわれています。また、できる限り普段に近い環境をつくり、安心して過ごしていただくことも大切です。

【対応例】

- ・ 本人に馴染みのあるもの(趣味のもの)や家族、ペットの写真などを飾る。

多くの場合、本人は、ご家族がそばにいてだけで安心されます。慣れない入院生活で、せん妄症状が現れてしまったとき、この記事の内容が少しでも役に立てば良いと思います。

